

## 会議体報告

本年度事務局は、L O M運営の下支えとして会員同士の絆を大切にしながら全会員の思いを一つにし、三役・理事会の運営・庶務等から様々な行事や事業の遂行をしてまいりました。しかしながら、本年は、これから様々な事業が展開されていくとした矢先に、世界規模で起きたコロナパンデミックにより、我々の運動にも大きく影響が出た一年でした。それでも、「SWITCH!!」のスローガンに立ち返り、気持ちを切り替え、コロナ禍の中でもできることを全力で企画・実行してまいりました。

1月、京都会議では南陽で開催される予定であった東北青年フォーラムの調印式へ多くのメンバーで参加してまいりました。南陽大会は開催されなかったものの、能代大会の思いを心に抱き、京都の地へ一緒に足を運んでいただいたメンバーの皆さまには心より感謝いたします。

5月には、世の中がコロナ禍で全てが自粛ムードという中ではありましたが、地域を牽引する団体として率先して行動を起こし、コロナと一緒に乗り越えようという思いとメッセージを込めた標語とともに、次亜塩素酸水を能代山本地域の小中学校に寄贈いたしました。7月には、本来あるべき行事やイベントが自粛され、通常送るべき一年が送れなかった小学校6年生へのエールとして、7月24日に実施された全国一斉花火プロジェクトに合わせて手持ち花火を寄贈いたしました。我々のこの行動により少しでも子供たちにとって前向きな気持ちで過ごしてもらい、思いに残るものになったのであればこんなに嬉しいことはありません。

また、7月は九州地区豪雨災害により多くの方が被災された中、能代青年会議所としても今できることとして支援募金活動を実施いたしました。当日は多くのメンバーからご協力をいただき目標金額を超える支援募金を募ることができました。ご参加いただいた皆さまには心から感謝申し上げます。

その他、計画していた事業などについても自粛せざるを得ない状況も多々ありましたが、後藤理事長の情熱と信念のもと、それらも修練のひとつとして捉え、年間を通してネガティブをポジティブに変えて運動を行ってきました。この経験はこれから歩いていく活動や生活の中でかけがえの無いものとなって我々の中に輝くものと確信しています。

最後になりますが、運営などで至らぬ点も多くあったとは思いますが、本年一年間の事務局としての運営を無事に終えることができたのも、メンバーをはじめ、両監事の支えがあったからこそだと思っております。また、スタッフの山田専務、川尻・池端両次長は予定が次々と状況変化する本年の激務の中、仕事・家庭・J Cの三輪車のバランスを保ち続けながらの活動は非常に大変だったと思います。本当にお疲れ様でした。そして、ここに改めてご協力していただいたすべての皆様にスタッフ一同心より感謝申し上げます。年間事業報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

## 事業報告

日付	内容	会場	公益性
5月26日	小中学校へ次亜塩素酸水寄贈	能代山本地域の小中学校	○
7月20日	小学校6年生へ手持ち花火寄贈	能代山本地域の小中学校	○
7月24日	九州地区豪雨災害支援募金活動	テラタ バイパス店	○
9月 5日	黒松並木選定	国道101号 線沿い	○
9月23日	9月臨時総会	松風庵	-
12月12日	卒業式	松風庵	-
通年	事務局運営並びに 財務管理、庶務全般		-
通年	三役理事会議の設営と 運営及び議事録作成		
通年	本会、地区、ブロック、 各L O M事業への参画と対応		-
通年	ブロック、地区出向者に対する 支援体制の強化		
通年	責任と行動力ある 会員拡大運動の推進		-

## 決算

項目	金額
寄贈事業（能代山本地域の小中学校へ次亜塩素酸水寄贈）	278,630円
卒業式	49,995円
合計	328,625円